

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	静岡市中心身障害児福祉センター いこいの家		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 12月 27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様、訪問先施設の環境について、丁寧にアセスメントを行っています。	支援担当が公認心理師であり、専門性を持って、お子様について、訪問先施設の環境も含めて、丁寧にアセスメントを行っています。 必要に応じてお子様の発達検査を実施し、保護者様・訪問先施設と共有しています。	アセスメントの内容をより具体的にお子様の姿へとつなげ、保護者様、訪問先施設の先生方と共有し、実際の支援に生かしてまいります。
2	支援実施後に、保護者様や訪問先施設へ支援内容の共有をはかるため、同様の報告書を作成し、支援の振り返りを行っています。	支援実施後に保護者様、訪問先施設に対し、同様の支援報告書を作成し、お渡ししています。報告書では、お子様の行動の背景・大人の関わり等を分析し、今後の支援方針について具体的な提案を行っています。お子様の課題の把握をし、具体的な関わりの方を提案しています。加えて、お子様の望ましい姿、先生方の適切な関わりについても振り返りを行い、今後の支援の方向について共通理解をはかっています。	よりわかりやすい報告書の作成を目指し、訪問先施設の環境の中で実現可能な具体的な支援方法を提案してまいります。
3	地域の関係機関と連携して支援を行う体制を整え、訪問先施設と信頼関係を築きながら、専門的な支援を行っています。	保健センターや医療機関、保育園、幼稚園、相談支援事業所からの相談・紹介を受け、スムーズに支援につながるよう対応しています。お子様への関わりを指導する立場ではなく、一緒に支援方法を考えていく協力者であることを訪問先施設の先生方に理解していただけるよう留意しています。専門的な立場として、より効果的な関わりの方を提案できるよう努めています。	必要なタイミングでスムーズに支援につながるよう、関係機関との連携をさらに強化してまいります。事業の目的や説明を丁寧に言い、訪問先施設の先生方も安心して支援を受けられるよう取り組んでまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子様の様子やご家族の状況も踏まえて、家族支援について個別に対応をさせていただいていますが、保護者様向けの研修、保護者様・きょうだい様の交流の機会を積極的に設けることができていません。	通園事業と訪問支援を併用している保護者様には、研修のお知らせや保護者会活動についてお伝えしています。訪問支援のみの契約の保護者様については、それぞれの所属園のなかで、保護者様同士の交流があると思われ、積極的に研修のお知らせ等はしていません。問い合わせや相談等あれば随時対応させていただきます。	訪問支援のみの契約児については、保護者様・きょうだい様同士の交流を設けることについて、ニーズの把握も含めて実施方法について検討してまいります。
2			
3			